

# 長崎空港NEWS

NO.8 (2022年7月4日発刊)

## ○今回紹介する事業・工事

～長崎空港滑走路端安全区域整備事業～

## ○トピックス

～NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト～

～現場見学会～

～フレッシュマン紹介～



長崎空港の航空写真



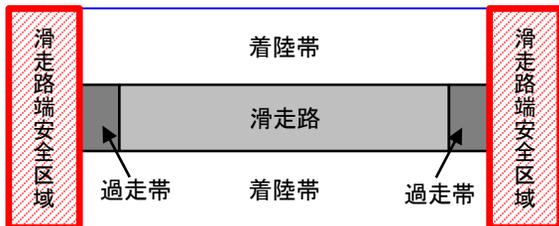
NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト記念写真

# 今回紹介する事業・工事 ~長崎空港滑走路端安全区域整備事業~

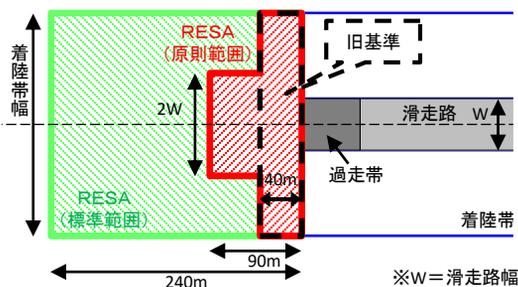
## 事業の目的

滑走路端安全区域(RESA(Runway End Safety Area))とは、航空機が離着陸する際に滑走路を越えて走行し停止する「オーバーラン」または、航空機が着陸時に滑走路手前に着地してしまう「アンダーシュート」を起こした場合に飛行機の損傷を軽減させるため、着陸帯の両端に設けられる区域のことで、

長崎空港は旧基準のRESA長40mで整備されていましたが、平成22年のICAO USOAP(安全監視監査プログラム)の勧告を受け、平成25年にRESAの国内基準が改正されたことから、90mへの拡張が必要になりました。



RESAの位置



国内基準のRESA範囲

### 国内基準(空港土木施設の設置基準)

		旧基準	最新の基準
長さ	原則	—	90m以上最大限の長さ
	標準	40m(可能な場合240m以上)	240m以上
幅	原則	—	着陸帯幅 着陸帯より40m以遠の区域は、滑走路幅の2倍(最小)以下で最大限の幅
	標準	着陸帯幅	着陸帯幅

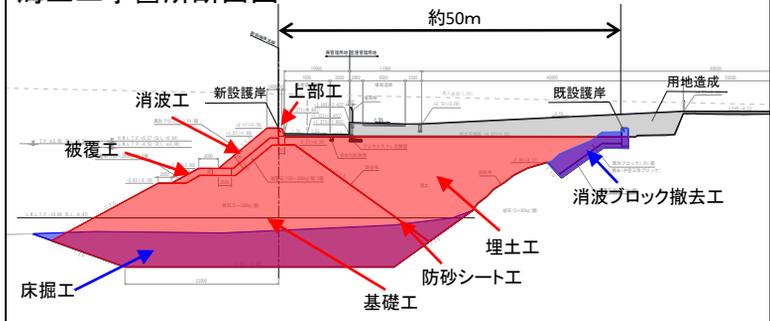
## 工事の概要

本事業は、右の図に示す既設護岸から約50m離れた位置に、新設護岸を海上工事によって築造し、築造した新設護岸の内側を埋立てた後、道路や空港施設等の整備を行うものです。

現地の工事は令和4年末頃より始まる予定で、今年度は一部の床掘工、基礎工を行います。

なお、本工事箇所は、航空機の安全な航行を確保するために設定されている制限表面下であり、空港運用時間中は作業高さの制限を受けることから、工事は22:00~7:00の夜間に行います。

### 海上工事箇所断面図



### 工事の流れ(海上工事)

- 既設消波ブロック撤去工  
既設消波ブロックの撤去  
撤去したブロックは再利用のため一時仮置き
- 床掘工  
海底の軟弱地盤の土砂を床掘り  
床掘土砂の有効活用を行うため、固化処理を行い、埋立土として流用
- 基礎工  
護岸の基礎となる部分に基礎捨石を投入
- 被覆工  
基礎捨石が波で流出するのを防ぐため被覆石を投入
- 防砂シート工  
埋立土の吸出しを防ぐため、防砂シートを敷設
- 上部工  
方塊ブロックを設置し、その上に上部コンクリートを打設
- 消波工  
一時仮置きしていた既設消波ブロックを新設護岸の前面に設置
- 埋土工  
固化処理を行った土砂等を埋立

### 出前講座

5月31日に「NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト※」の一環として、長崎港湾・空港整備事務所と熊本港湾・空港整備事務所の合同で長崎市の精道三川台小学校4年生(17名)に「海洋環境整備事業」の出前講座を実施しました。

生徒さん達へは「港の役割」と「海洋環境整備事業」について授業を行い、その後、海煌<sup>かいこう</sup>に乗船し海洋ゴミ回収のデモンストレーションを見学していただきました。

生徒さん達からは「環境をきれいにして世界を救うヒーローみたいな船」や「海をきれいにしていきたい」という声を聞いて、海を守る大切さをしっかり学んでいただけたと感じました。

みんなのお家で使う「電気」を作る石油や石炭は港を通じて外国から運ばれます。



ごみがたくさん積んである～この船が長崎港をきれいにしているんだ!!



長崎港内の清掃を行っている長崎県清掃船「第三清海丸」も合流



第三清海丸 海煌

多関節クレーンにて流木切断の様子



一瞬だった! カッコいい!

6月10日(金)「トコN HAPPY」にて放映されました。お見逃しの方はYouTubeでご覧ください。

「NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト」で検索 もしくは 下記のQRコードを読み込んで見てください👁️

放映状況



YouTube QRコード



※日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクト「海と日本 PROJECT CHANGE FOR THE BLUE」の一環として、「海洋ごみ問題について認知を広め、県民一人ひとりの身近な問題と捉えてもらうこと」を目的に長崎文化放送(NCC)が取り組んでいます。



### 海洋環境整備事業とは

海域環境の保全と船舶航行の安全確保を目的とした海洋環境整備船による漂流ごみ等回収などの業務を行っています。全国には海洋環境整備船12隻配備され、九州では「がんりゅう」「海輝」「海煌」の3隻が稼働しています。



海輝、海煌では、有明海・八代海・橘湾の漂流ごみの回収・環境調査を行っています。

- ・漂流ごみの回収(航行船舶の障害となる萱・草、木片、流木などの漂流ごみの回収を行います。)
- ・環境調査(管轄区域である有明海・八代海・橘湾の水質・底質調査、潮流観測等を行います。)



# 現場見学会

6月16日に令和4年度国家公務員1次試験を受験された方を対象とした「長崎地区現場見学会」が開催され、長崎港湾・空港整備事務所では港湾空港の役割、魅力、整備中の事業内容について説明を行いました。

現場見学会後、参加者(7名)と長崎地区の出先事務所若手職員(8名)にて、「仕事内容や職場の雰囲気、転勤等勤務条件 など」ざっくばらんに意見交換をしました。

国家公務員試験に合格していただき、来年度から一緒に仕事できればと思います。



現場説明の様子



意見交換の様子  
左:参加者 右:若手職員



記念写真  
前列:参加者 後列:若手職員

## フレッシュマン紹介



名前:熊谷 証輝  
配属先:補償調整室  
出身地:福岡県

今年度国土交通省に入省しました、熊谷 証輝(くまが えまさき)です。福岡県うきは市出身です。大学時代は大分県で過ごしました。経済学部にも所属し、部活ではワンダーフォーゲル部で主に登山をしていました。業務内容としては法律に基づいた港湾の管理業務、補償交渉などの補償業務を主に担当しております。入省したばかりで期待と不安の両方を感じながら業務に励む毎日ですが、一日でも早く国交省職員として貢献出来るよう日々邁進して参ります。よろしくお祈いします。

また、長崎県という魅力溢れる場所で社会人生活をスタートさせることが出来たことを大変嬉しく思っております。休日を利用して散策を楽しみたいと思います。



国土交通省 九州地方整備局  
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72  
TEL:095-878-5175 FAX:095-878-6734  
URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

## 長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾における国が行う港湾施設(岸壁、防波堤、航路、泊地など)の整備と長崎空港の土木施設(滑走路、誘導路、エプロン等)の整備、開発保全航路の管理を行っています。具体的には、施設を整備・管理するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。

また、海やみなどに関する相談、アドバイス、出前講座等を行っています。

- ※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと
- 長崎県内の開発保全航路・・・蟬蛾ノ瀬戸航路(じょうがのせとこうろ)
- 万瀬瀬戸航路(まんぜせとこうろ)
- 平瀬瀬戸航路(ひらせとこうろ)

## 出前講座とは・・・?

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に出向き港・空港について分かりやすく説明します。



事務所HP\_QR



フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと  
**0120-497-370**

最寄りの港湾・空港整備事務所につながります